

オディリア通信

あいあい

冬号(No.96)

R7年2月15日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073
Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声が室内を温かくしてくれます。移転して18年目に入りました。建物などの修繕や買い替えが必要になることも増えてきました。昨年は、給水ポンプの交換、居室日よけの設置、パルスオキシメーター、ひな人形、お菓子、子ども用椅子、ランドリー大型乾燥機などを、ご寄付や助成金などの助けをお借りして、購入することができました。年明け直ぐから始まった大規模修繕(空調設備の入れ替え)も皆様のご協力もあり、順調にすすんでいます。

令和2年〜令和11年を計画期間とした社会的養育全体の方向性を示す「社会的養育推進計画」が策定されて5年がたちました。令和7年度からは見直しされた後期の期間となります。「家庭養育優先原則」と「パーマネンシーの保障」は、子どもたちの最善の利益の実現のために重要であることは変わりありません。

乳児院としてできることを、職員が一丸となって知恵を出し合い、進んでいきたいと思えます。今年もご協力よろしくお願いいたします。

(施設長 鎌倉 道子)

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



おもちゃ紹介②

*お医者さんセット、ぬいぐるみ

聴診器や注射器など、お医者さんが診察をするときに使う道具が入ったおもちゃとぬいぐるみ、青い丸の蓋はおもちゃの軟膏ケースです。普段保育者が子どもたちの身体に、軟膏を塗っている様子を真似して、お気に入りのぬいぐるみに「ぬりぬりよ」と軟膏を塗って楽しんでます。



また、子どもたち同士で「もしもしますね」「はいー!」「言いながら聴診器をあてたり」「ちゅくちゅ」と注射をする真似をして遊ぶこともあります。

(保育士 横澤)



季節の行事「クリスマス」



ツリーの飾りつけをしたり、クリスマスの製作をしながら、みんなで楽しみに待っていたクリスマス。

イブの24日は、高月齡児がクッキー作りをしました。張り切って自分でエプロンと三角巾を選んで、手を洗ってからクッキー作りスタートです。綿棒で伸ばして、クッキー型で型を取って…。調理師に教えてもらいながら、保育者と一緒に思い思いにクッキー作りを楽しみました。

「〇〇作ったの」と教えてくれたり、満面の笑みで味見のクッキーを頬張ったり。楽しくて美味しいクッキーの出来栄になりましたよ。



そしてクリスマス当日。

クリスマス用の新しい洋服に着替えて、朝からワクワクした様子の子どもたち。「サンタさん、どこから来るかな」と保育者が問いかけると、みんなで周囲を見回して「あっちかな?」と考えたり「こっち!」と指さしたり、

楽しみに待ったりの姿が見られました。いよいよ鈴の音が聞こえてきて・・・

サンタクロースがやってきました。興味を持ちながら少し離れたところで様子を観察する児、驚いて泣き出す児。サンタクロースが一人ひとりの名前を呼び、それぞれに素敵なプレゼントを手渡してくれました。サンタクロースから受け取った包みを開け、目を輝かせながらもらったおもちゃで遊び始める様子は、とても微笑ましい光景でした。

素敵なクリスマスの記憶が子どもたちの心に、温かく灯り続けることを祈っています。



(保育士 網屋)

製作紹介①

*ごっこごえん

部屋満足を上野動物園に行くこと！

当口を楽しみしながら、みんなで絵の具で描いたり、シールを貼って動物たちの素敵なお家を作りました。

そこにぺたぺた…といろいろな動物を貼って、部屋にごっこごえんを作って遊びました。遠足後も写真を見ては「〇〇いたね」と思い返しながらかた話しています。

(保育士 相川)



製作紹介②

*クリスマスツリー帽子

保育者が「みてみて」と手作りクリスマスツリー帽子を被って見せると子どもたちは興味津々！「みんなも作ってみようか」と提案すると、「うんうん」と張り切って作り始めました。

ツリー型の緑の画用紙に絵を描いたり、オーナメントのキラキラシールを貼っています。切り抜いた紙皿には自由にぼんぼんをつけて飾り付けをしました。最後の仕上げはツリーのお星のみ。ぺたぺたとシールを貼る児、ここに貼ろうかとこだわりを持ち何度も貼り直す児など取り組む姿は様々で、それぞれの個性が出る作品が仕上がりました。



「かんせーい」と嬉しそうな表情を見せながら、自分たちで作った帽子を被って、「みてみて」と保育者に見せて回っていました。

(保育士 相川)

おもちゃ紹介①

*やわらかリングかみかみ

低月齢児の小さな手でも、しっかりと握ることができる歯固めです。歯固めとは、乳歯の生え始める時期に歯茎のムズムズ感を和らげてくれるおもちゃです。

黄色い歯固めの部分は硬く、青い歯固めの部分は柔らかい素材になっています。また、それぞれ形状が違いため、歯茎や唇に六種類の心地よい刺激を感じることができそうです。ひびひ、シリシリとできています。壊れにくい、何度でも繰り返し使うことができます。

(保育士 横澤)



心理士より

*ストレスとの付き合い方、戦い方

みなさんは「ストレス」と聞いて、何を思い浮かべますか？ ストレス社会と言われる現代ですが、ストレスとは何か、いざ説明するとなると、案外難しいのではないのでしょうか。

また、「ストレスという」と「悪いもの」と考える方も多いと思います。しかし実際のところ、ストレスは必ずしも悪いものばかりではないのです。

ストレスとはもともと生理心理学のことでは、日常生活を受け取るあらゆる刺激に対する**脳の反応**のことを指します。ここで重要なのは、あくまで「反応」だということです。身体が勝手に反応するもので、自分でコントロールできない場合が多いのです。

たとえば寒くても暑くても気がでなかったり、物音がうるさくてもイヤイヤしたりの反応があります。これらも立派なストレス反応です。その一方で、きれいな景色を見て感動する、美味しいものを食べて嬉しくなることも、刺激に対する反応という点では**あらゆるストレス反応「は」**なのです。

「ストレス」 私たちの生活のなかでは、

ネガティブなストレスもあれば、ポジティブなストレスもあります。ただ、そのバランスが崩れてしまうと、体調を崩したり、気持ちが落ち込んだりすることにつながっていきまます。

*ストレスとうまく付き合うためには、

寒暖差や花粉、交通渋滞など、ストレスの原因となる刺激は私たちの生活に付きまとうものです。そのため、ネガティブなストレスを抱えているときは、それを解決しようとしても、なかなか楽になりません。ストレス自体、自分でコントロールできない場合が多いからなのです。

そのため、自分からポジティブなストレスに触れて、ネガティブなストレスの影響を薄める姿勢、**ネガティブなストレスと積極的に「戦う」ことが大事**だと言えます。うまく戦っていくことが、やがて成長や自信にもつながります。

運動や食事、自然に触れる、人と話すなど、何がポジティブなストレスになるかは人によってさまざまです。まずは、どのようなことでネガティブなストレスを感じやすいか、それがわかると戦いを有利に進めやすくなると思います。

(心理士 戸田)

今後の行事

- 3月 ひなまつり
- 4月 イースター
- 5月 こどもの日

お知らせ

聖オテリリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

少しずつ厳しい寒さも和らぎ、暖かい日差しが春の訪れを感じるこの頃。子どもたちの元気な声が部屋をさらに暖かくしてくれています。

様々な感染症に気が抜けない日々が続きますが、予防に気を配りながら元気に過ごしていきたいと思います。

(保育士 横澤)

*「あこめ」の転載は「遠慮」ください。

